

あ と が き

陵東21号を案外早く発刊出来ました事は、情報PR委員会の皆様方の熱意と、原稿を依頼致しました各ライオンの絶大なご協力のお蔭と厚く御礼申し上げます。

忠実に記録を残しておけば、今後の記念誌を発刊する際非常に参考になることと信じ、次年度にバトンタッチ致します。

1988～1989年度

第二副会長 L. 梁 村 司 郎
情報PR委員長 L. 角 谷 順 亮
L. 大 山 善次郎
L. 中 村 宗 三
L. 藤 井 勉
L. 森 村 敏 弘

— 陵 東 21号 —

発行所 堺陵東ライオンズクラブ
〒590 堺市戎之町西1丁1番23号
(堺商工会議所3階)
TEL (0722) 23-0567
FAX (0722) 23-6110
印刷所 向陽印刷株式会社

陵東

堺陵東ライオンズクラブ誌

事務局 〒590 堺市戎之町西1丁1番23号(堺商工会議所3F)
電話 (0722) 23-0567
例会日 毎月第2・第4水曜日 午後6時15分～7時30分
例会場 堺商工会議所5階大ホール 電話(0722)38-5581(代)
結成日 1972年8月26日
結成順位 302・No1705 W-A地区 No112
スポンサー
クラブ 堺登美丘ライオンズクラブ
チャーター
ナ イ ト 1972年12月9日
会 員 数 69名(1989年6月末現在)



21号
1988.7~1989.6

目

次

スローガン・モットー・ライオンズの誓い・国際会長テーマ……………1
 暦に追われての一年……………会長 L.知 寛 良 昭……………2
 感 謝……………幹 事 L.柴 谷 美 喜 男……………3
 無 題……………会 計 L.東 瀬 浩 三……………4
 例会並に主な行事・出席率……………5
 波佐見LCとの合同例会及各例会写真……………6・7
 アクティビティ(陵東20号以降)……………8
 アクティビティ写真及新入会員の言葉……………9・10
 役員並びに委員会構成表……………11
 新役員並びに委員会構成表……………12
 会員相互の親睦は例会出席から……………新会長 L.中 辻 弥 千 幸……………13
 友情と親睦の再確認をめざして……………新幹事 L.具 足 武……………14
 ………………新会計 L.辻 野 功……………15
 1988～89 YE派遣ユース体験報告……………村 田 彩 子……………16
 故L.西川利夫を偲ぶ……………L.藤 井 太 一……………17

1988～89 335-B地区

ガバナーズスローガン

「友愛の花、奉仕の輪」

クラブ会長テーマ

「花と緑、友愛と奉仕の輪」

スローガン

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety

(自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる)

(1919年 シカゴ 第3回国際大会においてL.ハルステット・リッター提唱)

モットー

We Serve

(われわれは奉仕する)

ライオンズの誓い

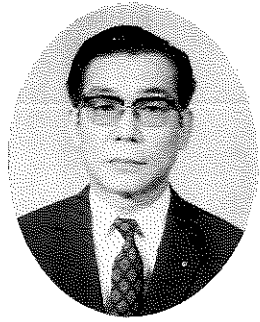
(330・332・335・337複合地区)

われわれは知性を高め、
友愛と相互理解の精神を養い、
平和と自由を守り、
社会奉仕に精進する

1988～89 国際会長テーマ

We Serve

(われわれは奉仕する)



曆に追れての一年

会 長 L.知 覧 良 昭

昨年3月、16代目会長の指名をお受けしたものの微力の私に15年間の歴史あるクラブに疵つけることなく充実した運営ができるか不安でございました。16年目を足掛りとし、20周年に向け結成当時の様な雰囲気づくりができれば幸いと考え欲ばって5つの目標を提示致しました。

- (1)実出席の向上、(2)メイクアップのあり方、(3)委員会活動の活発化、(4)献血奉仕4回
- (5)会員増員

この内献血奉仕は委員のL.大仲、L.柳沢、L.浅原に毎回ご努力をいただき立派な成績で当初の目標を達成することができました。又会員増員ではL.具足の骨折りで、L.合田を迎えることができました。嬉しいことに今期は1名のドロップもなく、この2件については成果が揚げられたものと思います。

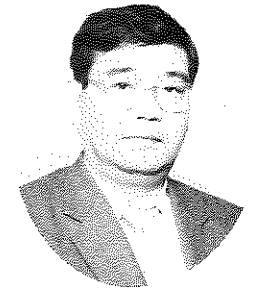
残念ながら出席率、メイクアップは今一つでした。これは私の不徳と致すところと深く反省しております。

次に年間計画ではL.福田並に委員の方々のご協力、毎例会ゲスト、スピーチも多く知らなかったことも勉強させていただきました。家族例会も、ミシガン丸船上でフランス料理による納涼例会、道後温泉で瀬戸大橋見物を兼ね波佐見L.C.と合同例会、歌舞伎座で「王様と私」のミュージカル観劇等々盛り沢山の計画で数々楽しい思いを致しました。又400回記念例会を労力奉仕としてグッハランドの清掃をしたことが各新聞にも掲載されて良いPRになりました。この様な多彩な行事のお蔭で曆に追れての1年間も夢の内に終わった様な感じが致します。アクティビティはL.村田始め第三副会の皆さんの協力で今迄にない、私設作業所27箇所を亘り、希望のテント寄贈も出来ました。この上ない喜びのお礼状も届いております。

次に国際協会ではL.C.I.F.創立20周年とあって、会長スクール時より1人1,000ドルのメルビン、ジョーンズ、フェロー会員を在籍数の1割以上つられ、頭の痛い思いをしました。然し当クラブからも他クラブに劣らぬ13名のご協力を得まして、陵東ライオンズクラブの面目がたちました。お蔭様で4月2日の年次大会に於いてL.C.I.F.協力賞とノードロップ賞を頂戴することが出来ましたのも、これ一重にライオン各位のご厚情ご協力に依るものと深く感謝申し上げます。同時に幹事L.柴谷、会計L.東瀬並に各理事のご協力を賜り、事務局の岡本さんには大変お世話になりました。本当に有難うございました。

最後に本年度は未曾有の激動の昭和も終り、新たな平成元年の意義深い年に会長をやらせていただきましたこと心よりお礼申し上げます。

この1年間の色々な出来事いつつまでも、私の心に奥深く残るものと思います。



感 謝

幹 事 L.柴 谷 美 喜 男

大役を仰せつかって早や1年経ちました。準備期間を入れると15ヶ月程の期間となりました。私にとって今振り返ってみますと、短いようですが毎例会ごとに緊張の日々でした。先輩ライオンズたち誰もが歩んできた道ですが夫々に工夫をされ努力されたことと今更頭の下がる思いです。

私の場合は先ず知覧会長に感謝いたします。例会理事会のプログラム作りも必ず一緒にやって頂きました。

私の気の付かないことも沢山ありましたが、事前に必ず気を付けていただきましたし、何回となく失敗をいたしました。うまくとり計って頂けました。本当に感謝いたします。

会計のL.東瀬、L.T.、T.T.その他理事さんのお蔭でこの1年失敗多き私を叱ることなく励ましていただいて最後に立派な合同理事会も開催できました。幹事をやらせて頂きまして少しL.C.の精神が理解できたように思います。

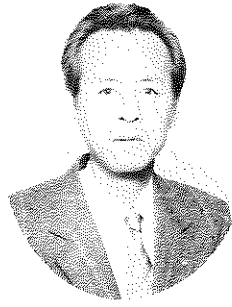
他クラブの会長、幹事さん、波佐見L.C.、登美丘L.C.の方々との交流を通じて「We Serve」の大切さがよく話し合われ、その後に気持を新たにさせられます。又集団で奉仕活動をする上でルールの大切さを最も痛感しました。

全会員の皆様方のお蔭をもちまして無事終わらせていただけたことを感謝いたします。

合 掌



▲L.合田入会式 1989.5.24



無 題

会 計 L.東 瀬 浩 三

麻雀仲間のL.知覧が会長に就任されたので少しでもお手伝いが出来ればと思ひ会計に就任しました。

この世に生れて55年。クラブ会計としてこの1年間書類に捺印した数は、それ以前54年間に捺印した数の数倍、いや数十倍に及ぶ。お陰様で大会社の重役の心境を味わせていただいた心境です。

この1年間何かと出費をお願いしましたが会員諸兄の御協力を感謝致します。



▲ 親クラブと合同例会 1989. 3. 8

例会並に主な行事 (陵東20号以降)

年	月	日	例会数	摘 要	開催場所
63	7	13	第380回	初例会 会長及各副会長の活動方針説明	商 工 会 議 所
"	"	27	第381回	メンバースピーチ 「いたくない話」 L.神谷 順	"
"	8	10	第382回	お客様 大阪府南大阪赤十字血液センター 田辺香苗 様 7R1Z Z.C. L.葛村浩一 地区会副委員長 L.加納久雄 各クラブ会長・幹事	"
"	"	24	第383回	納涼家族例会 びわ湖遊覧	遊覧船ミシガン内
"	9	14	第384回	お客様 R.C. L.藤野利三 YE委員 L.川端精一 レオ委員 L.佐野山泰 堺泉レオクラブ幹事 レオネット 船富鼓代、藤本好美 ライオンズスクールL.辻野建市	商 工 会 議 所
"	"	28	第385回	お客様 堺税務署長 門脇利穂 様 総務課長 佐野信重 様 ゲストスピーチ 「地下経済について」	"
"	10	12	第386回	お客様 堺消防署長 吉村良人 様 救急担当主査 古藤政孝 様 救急消防上長 田村雅史 様 ゲストスピーチ 「救急訓練講話」及実技	"
"	"	26	第387回	お客様 CBSソニー ミュージックプロモーター 山下三郎 様 ゲストスピーチ 「心の健康と音楽」	"
"	11	9	第388回	お客様 堺東L.C. 会長 L.比楽誠一郎 エクステンション委員 L.芝田貞二 メンバースピーチ 「転ばぬ先の杖」 L.橋本博文	"
"	"	26 27	第389回	波佐見L.C.と合同一泊例会 「道後温泉」	松 下 ホ テ ル
"	12	14	第390回	観劇家族例会 歌舞伎座観劇 「王様と私」 ミュージカル	歌 舞 伎 座
"	"	21	第391回	お客様 堺登美丘L.C. L.山岐良行 せり市	商 工 会 議 所
平成 1	1	11	第392回	お客様 村田彩子 様 (YE派遣ユース) オーストラリアよりの帰国報告	ホ テ ル リ バ テ ィ ア プ ラ ザ
"	"	25	第393回	次年度指名委員発表 指名委員長 L.川井 指名委員 L.東瀬・L.福田・L.藤原・ L.三好 メンバースピーチ L.大橋金剛	商 工 会 議 所
"	2	8	第394回	お客様 堺市長 田中和夫 様 ゲストスピーチ 「堺の町づくり」 堺市長	"
"	"	22	第395回	お客様 堺南L.C. L.上島淳之亮 次年度役員候補発表 L.川井敏弘 メンバースピーチ 「女がわからなければ儲からぬ」 L.山田 勝	"
"	3	8	第396回	堺登美丘L.C.と合同例会	羽 衣 荘
"	"	22	第397回	MJF 1,000ドル寄付者に対して国際協会よりラベルボタン贈呈 13名 次年度役員発表 メンバースピーチ 「消費税について」 L.佃 敏夫	商 工 会 議 所
"	4	12	第398回	交通安全例会 お客様 堺北警察署 交通課長 中山哲夫 様 ゲストスピーチ 「春の全国交通安全運動の実施について」	"
"	"	26	第399回	お客様 新入会員予定者 合田敏光 様 例会見学 必携例会 講師 L.藤井太一	"
"	5	10	第400回	労力奉仕例会 「ダッハランド会場清掃A.C.T.」	大 仙 公 園
"	"	24	第401回	お客様 大阪府環境保健部業務課 主査 平山次雄 様 新入会員入会式 L.合田敏光 ゲストスピーチ 「薬物乱用をふせぐ」	商 工 会 議 所
"	6	14	第402回	堺南通所授産所 所長 吉川喜章 様 せんぼく障害者作業所 所長 中内福成 様 すぎな共同作業所 所長 神戸伊知郎 様 26作業所より感謝状授与	"
"	"	28	第403回	最終打上例会 会長挨拶と御礼 会長 L.知覧良昭 新・旧 役員ラベルボタンの交換 今年度役員に対して謝辞 元会長 L.金沢正次	"

出 席 率

年	月	会員数	修正	年	月	会員数	修正
1988年	7月	68名	100%	1989年	1月	68名	100%
"	8月	68名	100%	"	2月	68名	100%
"	9月	68名	100%	"	3月	68名	100%
"	10月	68名	100%	"	4月	68名	100%
"	11月	68名	100%	"	5月	69名	100%
"	12月	68名	100%	"	6月	69名	100%



波佐見ライオンズクラブとの合同例会

L.中村宗三

1988年11月26日(土)、新大阪千成瓢箪前に、朝早い集合にもかかわらず、全員清しい顔でライオンメンバー及L.L.の方々が思い思いの荷物を持って集合時間に遅れることなく集まれ、「さすがにライオンのメンバーは時間厳守される」と今更ながら感心しました。

一路新幹線で岡山駅迄行き、観光バスで新しく出来た世界一の瀬戸大橋見物へと出発。与島より遊覧船で下から見上げる大橋の高さ、規模のすごさには、全員驚きの声を上げ、少々風がありましたが、瀬戸内の眺めの美しさに酔いしれている為か髪の毛の乱れも気にならないようでした。その後ゴールドタワーで上空よりの瀬戸の眺めも又格別の美しさと雄大さで、天気にも恵まれ絶好の景色を眺める事が出来参加して良かったとつくづく思いました。

素晴らしい観光の後には、道後温泉松下ホテルで、メインイベントの合同例会が波佐見L.C. 会長・L.井手の下で始められました。会長・L.知覧の挨拶の中で中学生作文募集の入賞者が長崎旅行に行った折にお世話になった事の御礼を述べられている時、波佐見L.C.のメンバー各自が領いておられたのが印象に残りました。両幹事の報告、閉会の後懇親会が両計画委員長の発声と進行で始められ、最初ボチボチだったお酒も酔がまわるにつれて楽しい会話があちらこちらで花が咲き、地元の芸姑さんにお酌をしてもらい少々鼻の下が長くなっているメンバー、カラオケあり、ダンスあり、皆様本当に楽しく波佐見L.C.メンバーとの会話をしておられました。「サー此で波佐見名物の皿踊りを！」の一声で、全員お皿を持ってカチカチと打ち鳴らして踊りの輪。だんだんリズムも合って、笑顔で全員カチカチと上手に踊り、時間の経つのも忘れて踊るメンバー。その中でテールツイスターのL.藤井(太)L.山田がカメラ・ビデオを廻して記録作り。貴重な記録が永遠に保存される事でしょう。

つきる事なく続く中、波佐見L.C.元会長L.山口徳によるロア一声高らかに一声して、楽しい合同例会が終わりました。

2年に1度の此の合同例会がその時その年の計画委員長の毎回違った合同例会がなされる事を願うと共に労をねぎらって筆を置かせて頂きます。尚記録写真・ビデオは事務局に保管して居ますので自由に御覧下さい。



1988.11.26



1988.8.24

アクティビティ (陵東20号以降)

年月日	寄付先	金額
63.8.9	第24回全国身体障害者スポーツ大会援助金 68名×100円	6,800
" " 19	堺泉レオクラブ分担金 68名×1,500円	102,000
" " "	大阪府立大学・大阪女子大学留学生後援会費	20,000
" " "	YEアクティビティ地区へ 68名×480円	32,640
" " 23	クラブ単独献血A.C.T. 採血者 215名 労力奉仕 51名	211,660
" " 31	ライオン歌碑協力金 68名×100円	6,800
" 9.14	7R YE活動費協力金	40,000
" " "	泉州三地区ペーロン大会協賛金	10,000
" " 26	秋の全国交通安全運動キャンペーン (京北高速線 深井駅) 労力奉仕 10名	—
" 11.8	クラブ単独献血A.C.T. 採血者 114名 労力奉仕 23名	8,600
" " 15	L.C.I.F. 10ドル×10月末会員数 680ドル×@132円	89,760
" " "	第8回 335-B地区レオクラブチャリティバザー物品拠出 34点	—
" 12.7	第14回物故ライオンズ慰霊祭拠出金 68名×670円	45,560
" " "	大阪アイバンク活動基金 68名×700円	47,600
" " "	イアーバンク拠出金 68名×500円	34,000
" " "	チャリティファンド協力金 68名×1,000円	68,000
" " 13	冬期派遣YEユース経費 (村田彩子 様)	29,500
" " "	国際花と緑の博覧会協力金 68名×7,000円	476,000
" " 20	L.C.I.F. M.J.F. 寄付金 1,000ドル×13名 <small>レート ¥125.40</small>	1,630,200
平成 1.1.18	冬期派遣YEユース負担金	60,000
" 2.7	クラブ単独献血A.C.T. 採血者 190名 労力奉仕 30名	44,750
" " 21	YEアクティビティ資金地区へ	32,640
" " "	26施設にテント1張づつ 90,000円×26ヶ所	2,340,000
" " "	1施設にさおり機一式	85,000
" 3.22	社団法人日本パラグアイ協会 <small>海外国際協力ボランティア活動写真集 1冊</small>	20,000
" 4.12	春の交通安全キャンペーン 労力奉仕 7名	—
" " 21	7R1Z合同献血 労力奉仕 25名	—
" " 24	1989年フェスティック神戸大会協力金 68名×500円	34,000
" " "	小川国際第2副会長支援金 68名×600円	40,800
" " 28	7R1Z合同献血A.C.T.実施費用分担金	113,602
" 6.20	堺市市政百周年記念ビデオ作成費用	796,600
	合計 31件	6,426,512



▲単独献血A.C.T.▶

1989. 2. 7



▲ACT 1989. 2. 21



▶ゾーン合同献血

1989. 4. 21



1989. 4. 21

アクティビティと思い出



1989. 4. 12



1988. 9. 26

1989. 5. 10



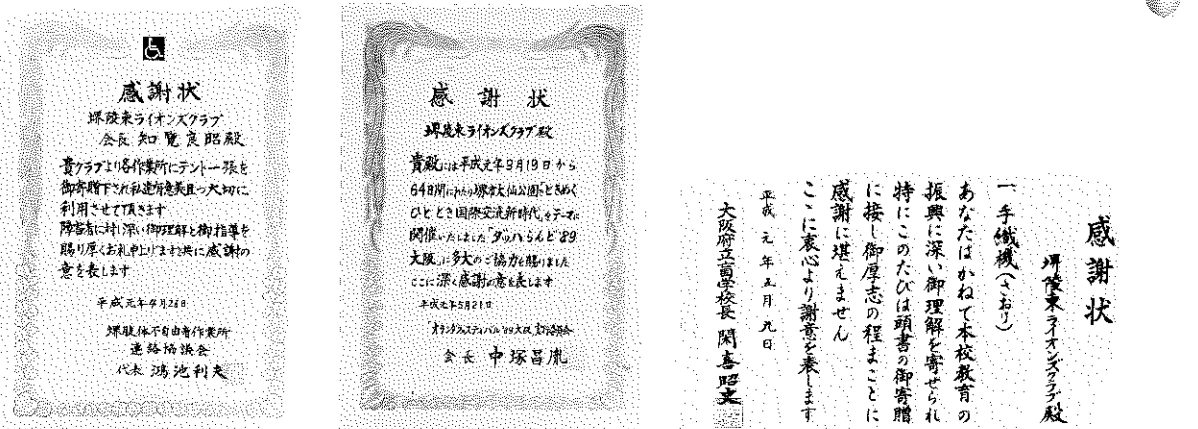
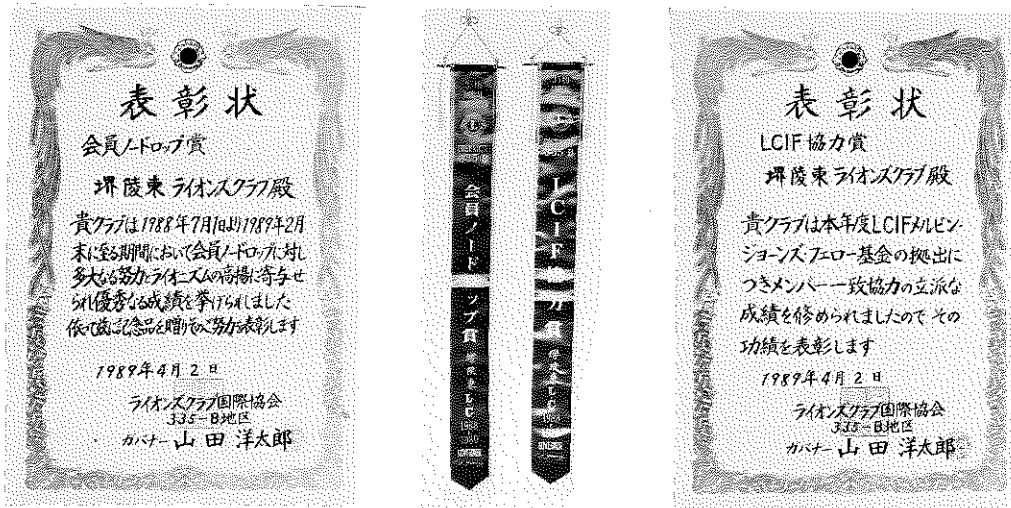
▲労力奉仕例会▼

ダツハランド会場清掃奉仕



1989. 5. 10

表彰状・アワード・感謝状



堺陵東ライオンズクラブ 役員並びに委員会構成

(1988.7~1989.6)

会長	L. 知 覧 良 昭	理事一年(副L.T)	L. 神 谷 順
前 会 長	L. 川 井 敏 弘	理事一年	L. 大 門 徹
第一副会長	L. 中 辻 弥千幸	理事一年(副幹事)	L. 今 井 保太郎
第二副会長	L. 梁 村 司 郎	理事二年	L. 福 田 一 夫
第三副会長	L. 村 田 義 光	理事二年(副T.T)	L. 藤 原 一 彦
幹 事	L. 柴 谷 美喜男	理事二年	L. 三 好 治 雄
会 計	L. 東 瀬 浩 三		
ライオンテーマー	L. 田 中 清 繁		
テールツイッター	L. 藤 井 太 一		

副会長	委員会名	委員長	副委員長	委 員		
第一	出席委員会	L. 浅 香	L. 大 前	L. 佃	L. 木 本	
	L. 指導力・開発・会員委員会	L. 辻野(健)	L. 野 里	L. 今 井	L. 植 松	L. 武 田
	中 財 務 委 員 会	L. 具 足	L. 森 井	L. 中 野	L. 大 門	L. 石 川
辻	計 画 委 員 会	L. 福 田	L. 太 田	L. 藤 原	L. 河 原	L. 三 原
第二	情報PR・会報・編集者委員会	L. 角 谷	L. 大 山	L. 中村(宗)	L. 藤井(勉)	L. 森 村
	L. 接 待 委 員 会	L. 米 澤	L. 津 田	L. 釜 中	L. 金 澤	L. 辻野(功)
梁	会則及び付則委員会	L. 杉 林	L. 山 田	L. 篠 田	L. 阪 口	L. 梅 田
	村 大 会 委 員 会	L. 夏	L. 高 島	L. 志 摩	L. 大 原	L. 神 谷
第三	社会福祉・環境保全市民教育奉仕委員会	L. 豊 田	L. 井 上	L. 香 川	L. 空 田	L. 得 津
	L. 薬 害 ・ 糖 尿 病 教 育 委 員 会	L. 土 井	L. 吉 川	L. 大 橋	L. 三 好	
	村 視 力 保 護 ・ 盲 人 福 祉 聴 力 保 護 ・ 言 語 障 害 者 福 祉 ・ 献 血 委 員 会	L. 大 仲	L. 柳 澤	L. 浅 原	L. 江 辺	L. 中 尾 L. 高 橋
	田 Y E ・ レ オ 委 員 会	L. 大 津	L. 千 野	L. 武 川	L. 橋 本	L. 松 本

新会員の言葉

L. 合 田 敏 光

ある沖縄のゴルフツアーの帰りの飛行機の中だったと思う、会員の具足氏が「PTAは終わったか」と尋ねられた。私が「今年でおわりです」と答えた。この会話が今回当クラブにお世話になる始まりであった。

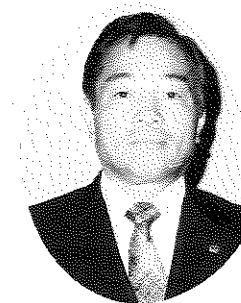
堺に住むようになって約18年になる、(仕事では25年)堺では仕事関係の人たちしか知らなかったが、地域の小学校のお世話をするようになってからは、ずいぶんと校区のいろいろな皆さんと親しくなることができた。職業はもちろん、年齢も違う、そして社会的立場も違う方々との交流をとおして、多くを学ぶことが出来た。今回このクラブに入会させていただき、よりいっそう、もっと広い堺の地域の皆さんと交流を持てるようになる。楽しみである。自分は堺生まれではないが、子供達は堺で生まれ、育っている。この古いすばらしい歴史をもつ堺、残念ながら今はその面影を感じることは困難であるが、これからは南大阪の時代であるといわれている。子供たちのためにも、現在建設中の「関西新空港」を好機に、昔の伝統をなんとか取り戻したいものである。各界でご活躍中の会員の皆さまのお仲間に入れていただき、自分を磨き、わずかでもお手伝いが出来ればと考えている次第である。

堺陵東ライオンズクラブ 役員並びに委員会構成

(1989.7~1990.6)

会	長	L. 中 辻 弥千幸	理事一年	L. 福 田 一 夫
前	会	L. 知 覧 良 昭	理事一年	L. 藤 原 一 彦
第	一	L. 香 川 哲	理事一年(副幹事)	L. 三 好 治 雄
第	二	L. 橋 本 博 文	理事二年	L. 東 瀬 浩 三
第	三	L. 土 井 忠 夫	理事二年(副L.T)	L. 江 辺 信 郎
幹	事	L. 具 足 武	理事二年(副T.T)	L. 夏 有 民
会	計	L. 辻 野 功	キャビネット委員	L. 辻 野 建 市
ライオン	テ	L. 吉 川 久 美	(7Rレオ委員)	
ター		L. 大 前 清		

副会長	委員会名	委員長	副委員長	委 員		
第一 L. 香 川	出席委員会	L. 豊 田	L. 村 田	L. 梁 村	L. 植 松	L. 高 橋
	指導力・開発・会員委員	L. 川 井	L. 木 本	L. 佃	L. 三 好	L. 釜 中
	財務委員会	L. 太 田	L. 大 橋	L. 梅 田	L. 高 島	L. 大 原
	計画委員会	L. 東 瀬	L. 三 原	L. 武 田	L. 藤 原	L. 篠 田
第二 L. 橋 本	情報PR・会報・編集者委員会	L. 大 仲	L. 山 田	L. 森 井	L. 森 村	L. 松 本
	接待委員会	L. 河 原	L. 金 澤	L. 藤井(太)	L. 角 谷	L. 福 田
	会則及び付則委員会	L. 中 野	L. 中 村	L. 今 井	L. 大 山	L. 得 津
	大会委員会	L. 志 摩	L. 武 川	L. 大 門	L. 田 中	L. 中 尾
第三 L. 土 井	社会福祉・環境保全市民教育奉仕委員会	L. 柴 谷	L. 津 田	L. 藤井(勉)	L. 江 辺	L. 米 澤
	薬害・糖尿病教育委員会	L. 井 上	L. 神 谷	L. 浅 香	L. 浅 原	L. 阪 口
	視力保護・盲人福祉聴力保護・言語障害者福祉・献血委員会	L. 柳 澤	L. 杉 林	L. 夏	L. 野 里	L. 石 川
	YE・レオ委員会	L. 千 野	L. 大 津	L. 合 田	L. 空 田	L. 辻野(健)



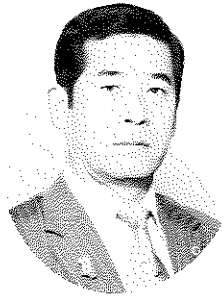
会員相互の親睦は例会出席から

新 会 長 L.中 辻 弥千幸

先の指名委員会より次期会長の指名を受けたとき、大役に対する責任の重大さを痛感しております。幸い幹事、会計、特に第1、第2、第3の副会長には幹事経験者であり、役員に就任された各メンバー諸氏にはクラブ運営に対するベテラン揃いであり、特に会長経験のあるL.大前も役員としてご協力願う事になり実に心強い限りであります。私ごとき浅学非才な者にとりまして最大の協力者を多く御指名くださいました指名委員メンバー各位に改めて謝意を表します。

さて当クラブ誌を通じメンバー各位に対し、この今年度のクラブ運営にも格段の御協力をお願い申し上げる次第であります。私は今年度会長テーマとして「広めよう親睦と奉仕の輪」を掲げました。会員相互の親睦をより一層広め特に新会員との融和を最大目標とし、限られた月2回の例会時間を有意義に活用できるかが最大の課題として参りたいと思えます。「言ふは安し行ふ難し」ではありますが、先ずはメンバー各位に毎例会皆出席を目標とし、個々の事業経営の中に時間割表として加えて頂く様特にお願ひ申し上げます。若し上述の願ひに対し御理解賜りますならば堺陵東L.C.が暦年目標とするクラブ運営と素晴らしい奉仕が出来ると確信しております。また我々ライオンズのメンバーは例会出席を条件に入会し社会奉仕をするを私共々再認識したいと思います。さて今年度アクティビティについて先年度は素晴らしいACTがありました。時代の変革に対応して近年は社会環境も変化し豊かな経済環境に恵まれた中に地域奉仕の難さがあります。この様な社会環境の中で小さな奉仕も忘れる事無く広域奉仕の視野を広めゾーンの一体的奉仕を推進することが、現況に応じた奉仕であると確信しております。このような考え方を基本としたACTを推進したいと存じますので会員各位の御理解ご協力をお願いしたいと思います。

終わりに新役員を始めクラブメンバー各位のご指導ご鞭撻を賜り、この1年大過なく職責を完遂させていただき様伏しお願い申し上げます。



友情と親睦の再確認をめざして

新 幹 事 L. 具 足 武

クラブ運営としくみを全く勉強出来ていない私が、幹事という大役の指名を受けての責任の重さにとまどっている現況です。しかし幸にも今期役員メンバーは全員幹事経験者で構成されており色々と助言を頂戴し指導を得ながら準備理事会を消化いたしました。これからは努力を重ね先輩の幹事達に多少なりとも近付けるよう頑張る所存でありますので会員皆様の御協力を伏してお願い申し上げる次第でございます。当クラブに入会させていただいて早や5年目を迎える私は幹事就任の機に初心にもどってライオニズムを再勉強して本当に役立つライオンを目標に働きたく存じます。私は常にこの働くという字が大変好きで人が力を重ね合って近辺にいる人「はた」を楽しくするという意味だと信じておりますので先ず新旧メンバーの親交と団結をより深く強固に計り「真の友情は心のふれあいから」をモットーにお互が自覚し固い絆で結び合って地域社会に奉仕し活躍して行きたいと思っております。

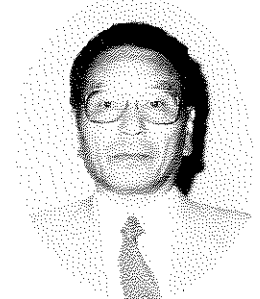
何はともあれ今の心境は大変不安で複雑ですが私なりに努力を重ねて与えられた任務遂行に全力投球し伝統ある堺陵東ライオンズクラブの歴史に汚点を残さぬよう精心努力することを約し幹事就任のあいさつと抱負といたします。



▲納涼家族例会 1988. 8. 24



▲1988.10.17 ゾーン親睦ゴルフ大会
L. 大山善次郎 Z. C賞 B. G賞



新 会 計 L. 辻 野 功

此の度び予期もせぬ、会計と言う大役をおおせつかり、不安やら感激で頭の中が一ぱいでした。事細かい数字、経理の処理等は、苦手中の苦手と、しかも月の半数以上が地方廻りの不在のため、時間的な余裕もなく、与えられた職責を完とうする自信がまったく有りませんでした。しかし一担御引受け致しました今は、平生にもどり、微力乍ら、全力投球で会の発展充実と、よりよい地域社会作りに、貢献して行きたいと考えて居りますので、先輩諸兄の御指導と、メンバー皆様の御協力を宜敷お願い申し上げます。

生ける時、善を作さずんば死する日獄の薪と成らん
得難くして移り易きは、其れ人身なり
発し難くして忘れ易きは斯れ善心なり

.....
古賢禹王(普の賢明なる王様)は、
一寸の陰半寸の暇を惜みて一生の空し過ぐるを歎かんせり

以上の一節は、我が佛教界の高祖侍教大師が19才の時、比叡山の草庵にて修業中、四恩に報ゆべく、世の為人の為に、寸暇を惜んで衆生を救済せんことを三世諸佛の御前に発願せられた願文の一部です。凡人の我々には、此の様な崇高なる精神と、実行はとても及ばないに致しましても、与えられた任期中の1年間だけでも、1年間を振り返って後悔の残らない様、日一日と努力を積み重ねて、会の為め、ひいては社会の為め、少しでも良い足跡の残る様勉強して行きたいと思っておりますのでメンバーの皆様の温かい御助言をお願い申し上げます。

1988~89 YE派遣ユース体験報告

村田 彩子

昭和63年12月20日から平成元年1月10日迄冬期派遣ユースとして、オーストラリアに行かせていただく事ができました。約3週間のオーストラリアの生活の様子をお話しさせていただきます。

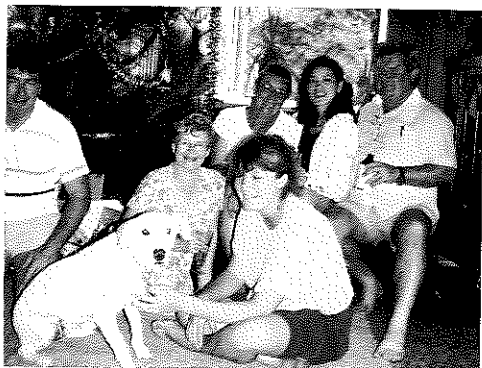
大勢のライオン関係者の皆様に見送られ、大阪国際空港を出発いたしました。約8時間の空の旅をしてオーストラリアの首都シドニーに到着しました。ここで乗りかえのためおよそ2時間程待たされ、又飛行機でブリスベン迄飛びました。その間約1時間程でした。ここからウォータータクシー(水上タクシー)にのり30分程で孤島アミティポイントに着きました。大阪を飛び立って約12時間の長い旅でしたが、見る物聞くもの珍しいものばかりで疲れる暇もありませんでした。私を受け入れて下さいましたホストファミリーは(L. Tooth)さんです。

到着した時は、これから始まる外国人の家庭での生活、私に本当にやれるかしら?と不安でしたが、それは全く杞憂でした。家族構成は、パパとママ、それに女ばかりの三姉妹です。長女のサリーは23歳で既に結婚されていて今は別に暮らしています。5月には赤ちゃんが生まれるそうです。次女のアンナは大学生で下宿をしています。三女のフィオナは高校生です。この家族構成は我が家とそっくりで子供の年齢がまったく同じ、ただ末の子が男だけの違いというめぐり合せには、びっくりしました。パパの仕事は芝生を刈る仕事の監督でママは学校の先生です。オーストラリアではどの家庭にも仕事場を持っています。この作業場を利用して、趣味を活かしてパパはステンドグラスを造っています。

毎日の食事は朝は小さなトースト1枚、たまに卵がつきます。昼はサンドイッチといっても何かをはさむ程度です。夜はハンバーガーといったたくいであまりの粗食にびっくりしました。私が日本で聞いていた話では日本で受入れたホストファミリーは、毎日お寿司やお造り、又すきやきと種々と品を変え食べさせていると聞いていたのであまりの違いにびっくりしました。けれどもとても暑いので、昼間からビールを飲んでいて、ビール腹をして太っています。丁度夏休みの休暇に入っていましたので皆さん家におられました。おかげでいろいろな処へ連れて行って下さいました。日中は毎日海へ泳ぎに行きました。海はどこまでも澄んでいて青くオーストラリア第一の素晴らしいリゾート地だったので泳ぐ事の好きな私は満悦してまいりました。

待ちに待ったクリスマスがやってまいりました。雪の降らない夏のクリスマス、サンタクロースが水上スキーにのってやって来ると子供の頃に聞いています。家の中に大きなクリスマスツリーが飾られ、その下に各々のプレゼントを並べて置きそれを1人ひとりに配るのです。私がとても不思議に思ったのは、雪のまったく降らない国なのに木には雪の飾りがついていました。皆にどうしてなのか?と聞いてみましたが誰れも知りませんでした。私が思うに、この国の人々はそんなクリスマス風景にあこがれているのではないのでしょうか。教会にも連れて行ってもらいました。教会の建物はとても質素なものでした。三角の屋根を四角の扉で囲み正面に十字架が掛っている、ただそれだけです。いかに皆さんが地味に暮しておられるかがわかります。

ライオンズクラブの会合は休暇のため開かれず、わざわざ私の為にガーデンパーティを開いて下さいました。そこでクラブから持っていきましたバナナを交換して参りました。明けて新年1月7日天皇陛下が崩御された事をテレビで知りママは私といっしょに悲しんで下さいました。ママは今後の日本の天皇は誰がなるのか等、皇室の事をいろいろ聞かれましたので私の知っている範囲でお答えしました。オーストラリアのある新聞は「日本の神は地獄へ落ちろ」と報道していました。私はその新聞を見ませんでしたが、他のユースの方でホストファミリーの方といっしょにその新聞を見た人は、ママから「この人はきちがいがだから気にしないで、オーストラリアの人達は日本人を悪く思っていないから」となぐさめて下さったと後で聞きました。「平成元年」異国の土地オーストラリアで新しい年号を迎えるとは夢にも思っていませんでした。天皇陛下の御冥福を心よりお祈りいたしました。



オーストラリアの人達の貧富の差が大きいのは驚きました。ライオンズクラブに入っている人は、金持も貧しい人もいます。粗食をしながらでも募金箱があれば必ずいくらかでもお金を入れておりました。父からよく聞かされている本物の奉仕精神を見る事が出来ました。いろいろな事がありましたが平成元年1月10日午後8時15分無事大阪に帰って来る事が出来ました。ホストファミリーの両親が大阪へ行きたいと言っています。いつか大阪でお目にかかれる事を楽しみにしております。

陵東ライオンズクラブの皆様、私にこのような機会を与えて下さいまして本当にありがとうございました。オーストラリアで学んだ事は一生の思い出として心の中にいつまでも残る事でしょう。本当にありがとうございました。



故L.西川利夫の思いで

L.藤井 太一



故L.西川利夫

「ライオンズ 医道歌道に 菩薩道 形見に残す 父母菩薩かな」

これは私の彼に捧げた挽歌である。L.西川利夫が亡くなってからはや1年が経った。彼の死は将に劇的であった。彼の生まれは金沢である。金沢一中を経て金沢医大に進み医者になった。戦争中は海軍軍医として南方戦線で活躍していたが、その頃から彼は短歌を趣味として、血生臭い戦争の暇を見ては歌を詠んで心の安らぎを求めている。しかし彼の遺歌集には南方の美しい島々の歌はあるが、戦争の歌は1つもない。彼はそんな男である。歌号を「十紫緒」と号していた。いつ頃、どんな縁で堺に来たのか私は知らないが、中百舌鳥白鷺駅の近くで内科医を開業していた。

我が堺陵東ライオンズクラブは昭和47年に結成したが、一年経って初めて新会員を募集したとき彼は推薦されてきた。スポンサーは誰であったかは忘れたが、当時2期目の会長であった私が幹事と一緒に白鷺の彼の医院に面接に行った。診察室で奥さんと一緒に目にかかったが、お話しぶりと言い、応対と言い、一目でこの方なら絶対に間違いがないとわかった。早速理事会に計って入会して頂く事になった。新入会員第一号であった。

ライオンズとしての先生の行動はさすがに立派で、例会には、病気で入院された時以外は、殆ど欠席されたことはなく、会の活動には常に積極的に協力し、又全会員の健康管理に常に気を配ってくれていた。年数回は定期的に血圧測定、検尿検査を他の先生がたと協力して実施して下さい、各メンバーにそれぞれ健康上の注意を頂いていた。又時々メンバースピーチで成人病やその他健康問題についてのスピーチをして頂いた。このように彼は我々のクラブには無くてはならぬメンバーであった。いわば彼は我がクラブのヘルスコンサルタントドクターであった。

金沢の信仰深い家に生まれ育った彼は、若い時から浄土真宗の親鸞の教えに深く帰依し、「歎異抄に聞く会」の会員となって、信仰深い生活を送っていた。彼の遺歌集の題の「父母菩薩」は彼の実父母養父母5人の父母の恩を菩薩の恩としてつけた題名である。彼は又奥さんをこよなく愛し、尊敬していた。歌集の最後の歌に「親鸞と忠信尼のこと我もまた吾妻(あづま)を菩薩とあがめ日暮らす」とあるのを見れば、その思いはよくわかる。奥様の和栄様は又よく出来た人で、日本舞踊は花柳流の名取で、書道に華道に優れ、又短歌も主人とともによくし、心から彼を愛し、彼が菩薩と仰ぐに値する方であった。家族例会にはいつも出席されてその自慢の舞踊を披露されては我々を楽しませて頂いた。

数年前彼は胃癌に犯されたが堺労災病院で手術を受け全治された。そして再び例会に出席されるようになった。その頃誰の発案であったか忘れたが大正生まれの者で大將會を作って親睦を深める事になった。私は明治生まれだが勿論入れて貰った。L.西川は大正7年生まれで会員である。お酒の好きな彼は34ヶ月に1回の大將會を楽しみにしておられた。それが昨年3月に京都の天竜寺に遊び座禅を習い、その後嵐亭で酒席をもったのが大層はずみ、彼もだいぶん酩酊し、更に二次会を所望されたが無理に連れて帰った。それが大將會での彼との最後の会となった。

若い頃から短歌を深く趣味にしていた彼は、ライオンズクラブに入会した頃、東京の「心の花」短歌会に入会して、佐々木行綱先生に師事し、いよいよ自信を深め、「心の花」堺支部「白鷺短歌会」を作って月1回自宅で歌会を開いて後進の指導に当たっていた。2年ほど前、私も勧められてその歌会にでるようになっていた。

彼は古希を前にして歌集出版を志し、戦争中の南方諸島で詠んだ短歌、16年余「心の花」に投稿し続けてきた短歌を整理して、先にも書いたが、題名も「父母菩薩」とし、序文を日本歌壇の大御所佐々木行綱先生にお願いし、出版社も「ながらみ書房」に依頼して、後は出版の日を待つばかりというところで、久しぶりにご夫婦で郷里に帰り、ご子息ご夫婦共々白峰のお氣にのりの温泉宿に泊まり、親子夫婦水入らずの団樂で楽しい一夜を明かしたのは、昨年の4月29日であった。翌朝、まだ寝ている奥さんの肩をたたき「こちらから朝風呂に」今何時「7時10分前」の会話を残し、独り温泉に浸かり、お湯の中での急性心停止の大往生である。将に劇的な死ではないか。奥様始めご家族の驚愕悲嘆、察するに余りあるものがあります。

彼の悲報を伝え聞いた我々も皆夢かとばかり耳を疑い悲しんだ。さて彼の歌集はそのまま出版するわけにはゆかなくなった。そこで奥様は悲嘆のなか、佐々木行綱先生に序文の書き直しをお願いし、自ら夫の死の顛末の追記を書かれ、心迫る数首の挽歌を載せられ、改めて遺歌集となって「父母菩薩」は出版された。その出版記念会は、彼の死の1周期の命日の去る4月30日に、白鷺短歌会の有志と堺陵東ライオンズクラブの有志の主催で追悼会と併せて盛大に挙行された。地下の彼も満足してくれたであろう。

歌集の彼の略歴の中に陵東ライオンズクラブ会員とある。彼のような人物が我がクラブの会員であったことは、我がクラブの誇りである。彼こそライオンと呼ばれる人であった。